

クイズ形式で 車両点検講習

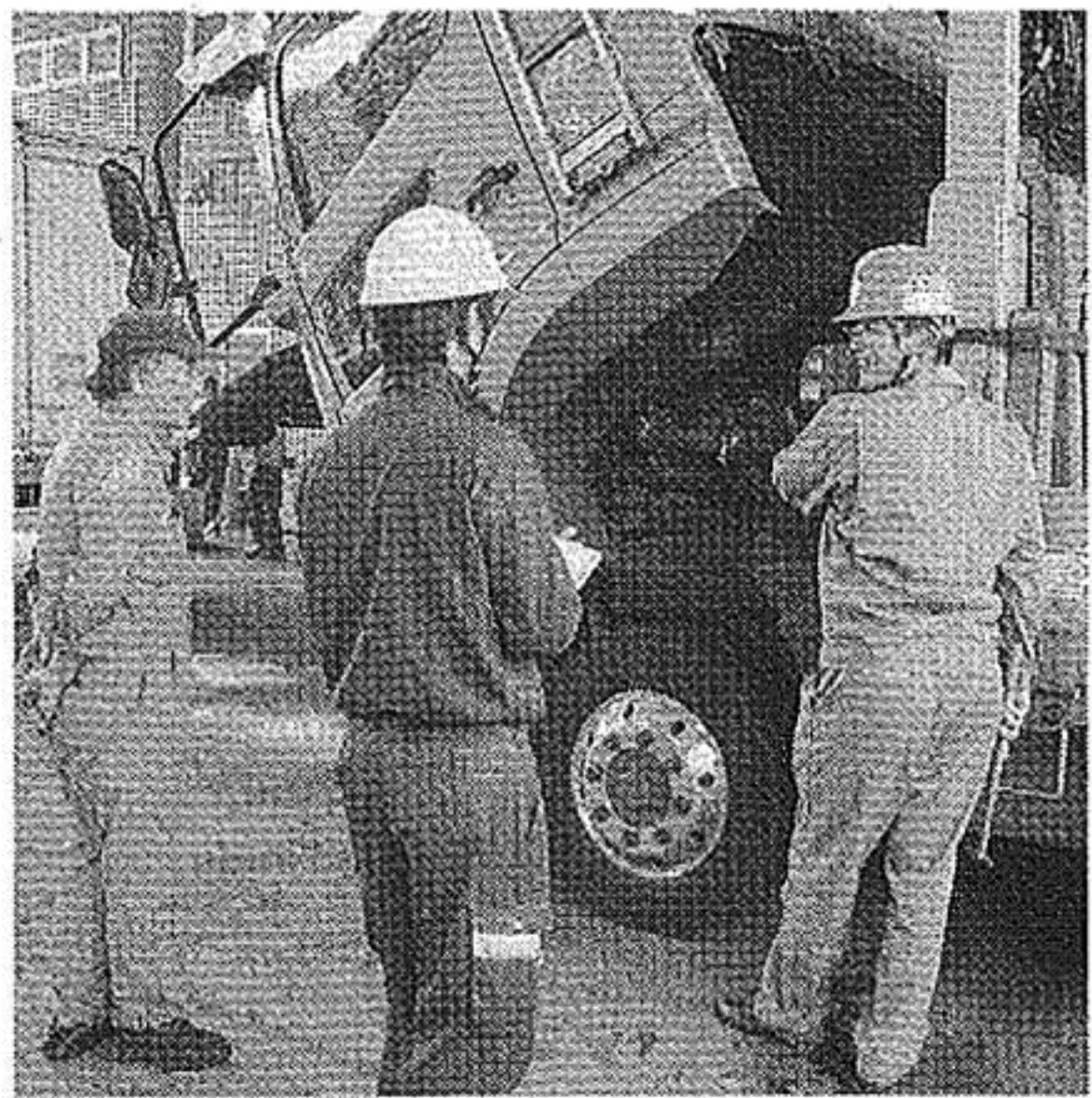
広運協

【三重】広域運送事業協同組合（樋口恵二理事長）は22日、三重県伊賀市の中田商事（中田純一社長）でドライバー研修会を開催し、会員事業所の16人が車両点検を学んだ。

午前中は座学を行い、広運協の上田健一・安全研修委員長が日常の点検方法やトラブルシューティングについて解説。昼食後は同社の第二倉庫（伊賀市）に移動し、3グループに分かれて日常点検の実技研修を行った。

車両はウイング車、平ボディ車、ダンプカーの3種類を用意し、ホイールナ

15か所の「間違い探し」にチャレンジ



ットの緩みやエンジンルーム内の異物など15か所の不具合を設定。参加者は持ち時間15分を与えられ、「間違い探しクイズ」の要領で車両点検にチャレンジした。

点検内容のチェックは、林運送（松阪市）の林泰司

社長と、協伸（京都府宇治市）の伊藤善郎社長が担当。最高正解数は12か所だった。成績による順位付けは行わず、採点結果のみを各参加者に伝えた。

伊藤氏は「12か所発見できれば上出来だ。自分でも

パーフェクトは難しい。今回初めてクイズ形式にしたが、楽しみながら点検方法を学べる。わが社も含め、日常点検を習慣付ける良い機会になった」と述べた。

昨年引き続き会場を提供した中田氏は「このような研修会は、すぐ結果につながるものではない。継続していくことが大事だ」と話した。